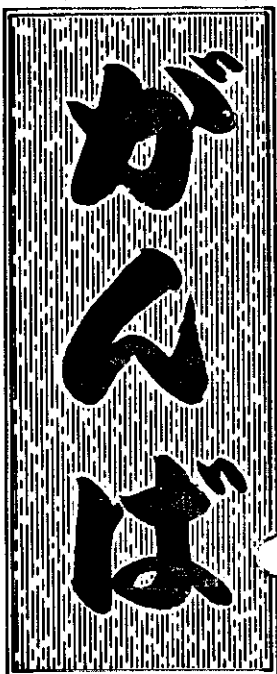


文部大臣表彰・九P表彰に輝く



島三小育友会報
行 部
発 報
広 刷
印 所
つるかわ印刷所

[第48号]

昭和五十一年度日P大会に於て、島三小育友会は、県Pの推薦を受け、文部大臣表彰の栄に輝きました。
去る十月十二日、日本PTA全国協議会総会が東京に於て開催され、その折、団体表彰、そして、全国で数少ない大臣表彰を受けたものであります。
表彰理由は、組織・運営にすぐれ、実績顕著であったこと、その実績の中には、体育館建設及び創立百周年記念事業の実現に果たした役割があるのは当然であります。
また、十一月六、七日の両日、長崎市に於て、九州地区PTA研究大会が開催され、優良PTAとして団体表彰を受けました。



挨拶

育友会副会長 坂本博幸

昨年前会長より保健体育部長を任じられて、子供達の幸せの実現のため張切った一年間でございますが、不勉強のため失敗の連続で冷汗をかきながら、どうか先生始め会員の皆様の御協力により無事、保体部長を勤める事が出来ました。今回会長の補佐役として、副会長の大役をお引受けする事となりましたが、当初は口下手な自分にどうなる事かと心配致しました。会長始めベテランの役員・部員・会員の皆様の御協力で一学期、二学期共々育友会活動を進めてこられました事、深く感謝申し上げます。
これからも育友会の運営又学校教育・家庭教育の重要性を会員の皆様と率直に話し合い、初心に戻って勉強して行きたいと考えております。
今年、首を長くして待っ

ておりました体育館も春には完成し、育友会親睦バレー、育友会活動、社会体育等に大いに活用出来ました。会員一同喜びに絶えません。去年より、新しい方向でスタートいたしましたし運動会も、今年は先生方の御協力で日曜日に開催出来ました。いろいろな面で反省点もございましたが、子供達のたくましい成長のために、親と教師が助け合って協力しあわねばと心より痛感いたしました。
先般、島原市で開催されました長崎県公民館大会、また長崎市で開催されました九州PTA大会に出席し、各地の代表の方々の熱のこもった発表を聞く事が出来、私自身の良い勉強になりました。
明日の子供達の健全な成長、発展のため、一生懸命頑張る覚悟でおります。
どうぞ会員の皆様これからも御指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

叩 叩 叩 叩 叩

九P大会に出席して

育友会副会長 有馬 隆 子



去る十一月六、七の両日、長崎市に於て第二十一回「九州地区PTA研究大会」が催されました。長崎国際体育館を中心に、九州各県より五千有余名の参会者が、市内十一会場に分散し、七つの分科会が持たれ各会場とも活発な研究発表並びに討議が行なわれました。本校からも教頭先生本田会長・坂本副会長と私の四名が出席致しました。本田会長は「PTAは子どものたくましい成長のための保健と学校給食にどのようにとりくめばよいか」と題します第四分科会の司会と言う大役を受けられ、前日より泊り込みの御活躍でした。此の分科会では、大分県の大恩寺小学校PTAより「子どもの保健対策」南高国見町立神代小学校二年二組PTAより「子供たちの目を守ろう」と言う、二校の口頭発表があり、その他にも誌上発表(二校)がありました。前者は児童数二七一名と

言う小規模校で、子どもに対しての保健面、特に「蟻虫対策」を主体とした発表がなされ、農村地帯と言う生活環境の中で地域ぐるみの協力を得て、蟻虫卵寄生者「〇%」に到った経過報告、その他「季節的な体力作り」「健康手帖の活用」他の発表がありました。次に後者神代小PTAですが、此処では、高・低の二ツに学年を分け、「学習面」「生活面」「保健面」の三つの方向からモデルクラスを指定し、テーマを与え年間を通して研究すると言う、実に羨ましい程の熱心さでした。その内から二年二組の学級担任保護者・保健室そして学校医の四者の素晴らしい連携プレイの大きな成果とも言える発表でした。

とより専門医の治療と家庭における治療(テレビ・読書・食餌・投薬その他)学校に於いての投薬など、四者一体となつての治療が効を奏し、八ヶ月後八人中六人が視力の快復(はじめ1.0→0.6、八ヶ月後1.5→1.0)をみたと言う研究報告でした。四者の協力なくしては成し得ない成果でありましょう。中村医師の専門的解答、助言を出席者全員熱心に聞き入り、時のたつもの、あまりの早さに、限られた時間ではうしる髪を引かれる思いで会を終了しました。

母と息子

栄町 石本千和

子供が一年に入學する頃、無一文で商売を始めたものだから人手が足りなくて、電話番は子供の仕事に成っていました。

売れた車の納車、出張修理集金と飛び回り留守は子供に任せ、日曜・祭日も休み無しで子供にも仕事の手伝いをさせ、話しを聞いてやるのは台所で夕飯の仕度をする時です。狭い台所を親子でうろろし

ながら先生から叱られたこと、誉められたこと一部始終を糸を引き出す様に話します。この忙しい時間に煩さいなあと思ふのですが、学校から帰って来て一人で本を読んだり、テレビを見たりしているのだからと思うと「うんうん」と聞いてやるのです。

低学年の頃の其の生活が身につけてしまっているのか、高学年に成った今でも、たまに友達と遊ぶ時間が出来ても友達を家に来てもらい、自分は、家なるべくあかさないうようにしているのです。

今では私より身長も大きく成って狭い台所がますます狭くなるのに相変わらず、夕飯の仕度を始めると手伝いながら今日は、誰々さんにいたがらしたので叱られたとか、忘れ物して打たれたとか他愛もない話しを仕度がすむまで話すのです。たまに「馬鹿んどてそがんことするけんたい。」と注意すると、声変わり始めた声をますます裏声にして「ひっちゃかましか。」と、のぼせた声を出すので思わず大笑いしてしまふのです。

運動が大好きでテレビも運動の番組ばかり追い回して

見ているようですし、サッカー、柔道と練習日には一度も休むことなく行くのですが、勉強には香気なようです。主人も仕事は休日無しでしていますが、子供の試合などがあると、浮き浮きして仕事は手につかず、仕事着のままでも必ず見に行くのです。そして「自分がきつか時にゃ誰でんきつかとじゃけん、きつか時どっだけ頑張りんきくかで勝負は決つたい。」と子供に良く言っているようです。主人を信頼しきっている子供は大切な相談事は必ず主人に話しているようです。

今一番の悩みの種は、中学に入ってからクラブを何をするかと言う事らしいのです。子供の好きな道を進ませたいと思つては、親の親のしやれることは、体力作りと人に頼らず一人歩きの出来る人間にしてやる事だと思つて



る程ですから、親の方も好き
なようにさせておきます。

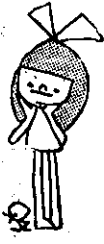
寒いから暖かいからと厚め
に着るとか、薄めに着るとか
子供の感覚では関係ないのか
も知れませんが。冬でも下着は
着ずに直接、袴の付いたシャ
ツ一枚だけです。学校へ行く
時は、私がうるさく注意する
とジャンパー等着ますが、帰
ったすぐ脱ぎ、靴下も同様で
す。厚着するとゴワゴワとし
て、気持が悪いと言っています。
す。体力作りに役立っている
事がもう一つあります。それ
は幼稚園の頃から剣道をやっ
ていることです。道場での着
替に時間が、かかるので自宅
から着て道場へ通っています。
夏も冬も同じ服装ですから、
自然と薄着が身につけてしま
いました。剣道をやり始めて
から色々な面で積極さが出て
来たようで、体力作りと人間
作りにと良い面が表われつつ
あるようです。

あいさつ

漢新地森川静子

二年生になる女の子が手を
洗うのを見ていた私は、「ち
ゃんと洗いなさい。」とい
ましたところ、娘は不思議そ
うに私の顔を見ていました。
きつと自分では、ちゃんと洗
ったつもりだったのでしょう。
「ちゃんと」とか「きつと」と
言った言葉は母親である私
達が子供を指導する時によく
出る言葉ではないでしょうか。
たとえば、遊び終わった子供に
対して「きちんと後片付けし
なさいよ。」と言う。言った
ほうは、それで指導したつも
りになっっているのですが、そ
の注意を受けた子供の方は、
どのように片付けることがき
ちんとなのか、わからないの
ではないでしょうか。だから
「しっかりと」とか「ちゃんと
とか「きちんと」など抽象的
な言葉かけだけの指導ではな
くて、手を洗うにしても、「手
はバイキンがいっぱいついて
いるんだよ、そのバイキンは
せつけんには弱いんだよ。だ
からせつけんつけて手を洗う
んだよ。」などと手を洗う意

味を正しく、知らせていか
なければならぬのではないで
しょうか。このように子供達
のしつけに対して、私達母親
は、「手を洗う」ことにして
も、「ちゃんと洗いなさい。」
といった注意で、しつめたつ
もり、教えたつもり、伝えた
つもりで安心してはいけ
ないのだと思います。
私の二年生になる娘が、最
近とてもすなおな気持で「ご
めんなさい。」「ありがと
うございます。」「今は、私
のましがいいでした。」とい
う言葉が出るようになったの
でおどろいていましたが、担任
の先生が御指導下さっている
事がわかりました。娘達のク
ラスでは目上の人を敬うこと
から先生に宿題のプリント、
がんばり帳を見ていただく時
は「お願いします」「ありが
とうございました」という言
葉をおそわったそうです。
それに給食も先生にあげてか
ら、皆にくべるのだそうです。
このように目上の人を敬うと
いう事は、とても大切な事だ
です。この事を教えて下さった
先生に頭が下る思いです。



チャンネル権は 親父のもの

元舟津 西浦和彦

テレビの見方、見せ方は家
族構成や各人各様の思い思い
により、異なるものと思う。
参考になるならぬは、会
員みなさんの判断にまかせ
るとして、私の友人の家庭のこ
とを書いてみます。
テレビで問題になるのは、
「チャンネル権」ですが、友
人宅では、チャンネル権は親
父がピタッとにぎっています。
ニュースの時間になると「お
父さん、ニュースが始まった
よ。」と、子どもが知らせま
す。また、お父さんの好きな
自然や動物を扱った番組の時
にも同様です。同時間に子ど
も達の好きなマンガ等があつ
ても、絶対見せないそうです。
番組の中には「日本昔ばなし
「水戸黄門」等は親子一緒に
見るそうです。
この様に書くと「子ども達
がよくガマンするなあ」と思
いでしょうが、それまでは、
大変だったらしいです。
友人達は、祖父・父（友人
母・長男（小三）二男（六才）
の五人家族です。長男が三才
ごろ、テレビの前から離れず
特に調子のよいコーメンタル
やマンガ等の時間には、父母
が何と言っても離れなかつた
そうです。
これでは、子どもの健康に
よくないと思い、腕力にまか
せて、テレビの前から離しま
した。子どももさるもの手足
はバタバタ、声はギャギャ大
変な騒ぎでした。こんな事を
五、六回くり返しているうち
に「これではいけない、子ど
もが可愛いそうで、親もよい
気持ではない」と気づき何か
よい方法はないかと考えて見
ました。
そこで、親子の話し合いを
思いたち、次のような「親子
協定を結びました。「親父が
見る時には、子どもは好き勝
手なことをしたらいけない。
しかし、夕方五時から六時ま
での時間帯は、子どもが好き
な番組を見てよい。」
協定とはいいいながら、親父
の一方的なもので、長男には
大変なことだったろうと思
いますが、忍耐力をつける事も
含めて大変よかつたと思いま
す。三つの子の魂なんとかの

たとえの通り、あれから五年「チャンネル権」は親父のもです。

最後に、私の好きな文章を記して、文のまとめにします。○子どもが社会に出て苦境に沈んだ時、ふと思いついて

テレビ視聴

中組 田浦エイ子

我が家の長男は、幼児の頃から外遊びが出来ず、テレビの虜になってしまっていました。一週間のテレビまんが番組を暗記して、五時位からテレビのくぎ付けです。見る気がない時でもスイッチを入れ、るのが癖になったようです。今になり反省しますと、子供が家の中で遊んでいると危険がなく、おとなしいという事で親の方でも、その面を安心していたようです。一年の学級部会の折、テレビ視聴時間の事で話し合いが行われました。一時間見る、或は二時間と言う声を聞き、改めて我が家の子供の事でなんとかしてくてはと気になり出しました。その心配も、学年が進むにつれ、変ってきました。

支えとするような教養は、父から子への最良の贈り物である。○子どもを非行に走らせるのはやさしい、それは、子どもが欲しいがめるものは何んでも与えてやることだ。なり、夕方の時間の立つのも忘れて熱中して、テレビから遠のいてきました。見る内容も、マンガからクイズ番組、ホームドラマと変わり、親も子ども楽しんで見ております。テレビを通じて、他の家庭がわかり、又家の事も、反省出来て、今ではテレビは一日もかかせない楽しみの一つとなつてしまいました。我が家では、見る時間の事は、解決出来たのですが、次にテレビを見ながら食事をする。又勉強をすると言う事をおおそうと話し合いました。先輩の方や、近所の方の話を聞いて見ました。結果として、それぞれの家庭で、いかにテレビ視聴時間等の事で悩み、苦心なさっていられるかと言う事を聞き驚き感心しました。皆様の家庭では、いかがでしょう。某家庭では、兄妹

で話し合い、今日の何時から何時まで誰として、見ない時間は、自分は宿題をすまして、後でゆっくり見るといふ実の良い話しを聞く事ができました。子供どうして、前の日のテレビマンガの事を話し、楽しんでる友達もいるそうです。私達は、やはり子供が宿題や、食事をする時は、親もテレビを消して協力しなくてはいけないと、考えました。少しづつでも、よそ様の家庭のよさを取り入れて、楽しくテレビが見られるように、努力しようと思っております。

記念碑に

カプセル内蔵

鳥三小百周年を記念する機会に本校の児童のようすや学習のようす、地区のようす、などが五十年後にわかるようにと、記念碑の中央にカプセルを埋めることにしました。この中には記念事業に関する一切の書類や非常に苦勞された役員の名前や児童の使っている教科書・学用品・参考書などや、成績物(図画・習字等)がはいり入れてあります。そして、このカプセルは五十年後に掘り出して見ることにしています。さあ、五十年後は三小も、地区も大きくようすが変わることでしょうが、この大事な玉手箱がびじょうに楽しみです。カプセル埋蔵 昭和五十一年十二月四日(土)

歯の表彰を受けて

養護教諭 山田勝子
去る十一月二十八日、五島の福江市で開催された学校保健研究大会の席上「よい歯の学校」長崎県一位という、すばらしい表彰をうけました。

よい歯の学校 長崎県1位 (大規模校)

これは、歯の健康管理に対して、先生方の指導、子どもたちの努力、そして、ご父兄の皆様方のご協力の賜物と思えます。

本校は、本田学校歯科医のご厚意による年間二回もの検診があり、又多くの歯科医院に囲まれ、早期発見、早期治療が出来る環境にあります。おかげさまで、むし歯を初めでくいとめることが出来、他校児童にくらべ、永久歯の未処置歯数が少ないようです。児童の委員会活動として、悪い歯をなおし、健康なからだをつくらう、という目標をかかげ、学級別歯の治療状況を職員室前にはってあります。子ども達は、日々、変化するクラス成績に興味をいだき、治療完了を喜びあっているようです。まだのお子さんには早く治療をさせてください。むし歯は、腹痛・頭痛のようになり自然になおることは、絶対にあります。ほおっておくとだんだん悪化し、その上治療に要す時間と費用は多くなるばかりです。むし歯がひどくなると心臓や腎臓がおかされたり、胃腸や栄養障害をおこしたり、歯ぐき歯ならびが悪くなり容姿にも悪影響を及ぼします。むし歯は「ミニユータンス」という歯が中心となっております。

る病気です。この菌は口の中にいつも存在していて、食物中の糖分を栄養にして繁殖します。歯の表面や歯と歯の間に歯垢(はくそ)といっしょに附着した糖分が多ければ多いほど、むし歯になりやすいそうです。

むし歯は小学生の時、つまり永久歯が生えはじめてまもなくが一番かかりやすく、予防が大切なのは今の時期です。むし歯の予防には、まず、口腔内の清掃、正しい歯みがきが実行されなければなりません。

三小児童の歯みがき状況は九月

○今朝歯をみがいた者 三一・八%



○昨晚歯をみがかなかった者 四七・四%

十二月

○今朝みがかなかつた者 一四・六%

ある朝、突然予告なしの調査ではあつたけど、この実態には驚きました。

お宅のお子さんは如何でしょうか？

今後は治療のみでなく、予防対策に力を入れようと思ひます。

お子さんに、正しい歯みがきの習慣が身につくよう、ご家庭での指導をよろしくお願い致します。

子ども達の幸せのため

パール賞受賞

六年 本田亮子

今年も六月になり、歯の衛生週間がやってきた。私達の学校では、この週間に虫歯のない、きれいな歯の人にはパール賞がある。

私は、一年生の時、友達から賞状をもらうのを見て、うらやましいなあと思つた。私は虫歯が多かつた。

ところが、二日後に虫歯の一本がぬけ、あとに小さなきれいな歯が見えた。私は、とてもうれしかった。母にすぐ知らせた。母は、「小さい時の歯は、今から四年生位の間ぬけてしまい、かわりに新しい歯がはえてくるよ。しかし、新しい歯がとれてもかわりの歯は出てこないよ。」と話した。私は「ようし、この虫歯は、はえかわるんだ。今度はえてきた歯は、ぜったいに虫歯なんかにならないぞ。四年生になつたら、きっとパール賞になつてみせる。」と考へた。私は、毎日、朝と夜に歯をみがき始めた。しかし、四年生までには、みんなはえかわらなかつた。

五年生では、虫歯の乳歯が一本あつた。私は、治りよう行つて、ぬいてももらつた。口の中を調べながら、歯医者さんが「みんな永久歯になつたね。ほほう、虫歯は一本もないね。」とおっしゃつた。

私は、歯をぬいたいたみも忘れて、うれしきでいっぱいになつた。「来年こそ、パール賞がもらえるぞ」と思つた。それから一年が過ぎた。五月の歯の検査では、予想どうり虫歯は一本もなかつた。しかし、虫歯がないだけではパール賞にはなれない。歯ならびや歯の色がよくなくてはならない。

六月四日に校医さんがパール賞を決めるために見えた。全校生徒千四十七名の中、虫歯のない六十六名の歯をていねいに調べられた。私の番になつた。私の胸はドキドキしてきた。お医者さんが「よし」とおっしゃつた。

今年のパール賞の受賞者は四十七名で、その中に私も入ることができた。私は、代表として賞状を受けるとき、うれしいような、はずかしいような変な気持ちだつた。

私は、初めてもらつた賞状

を見ながら、五年前の母のこゝとばを思い出した。今度これらの歯を虫歯にしたら、二度と、もどりの歯にはならないのだ。虫歯はちよつとのゆ断からできる。虫歯にするかは、私自身の問題である。私の歯は、私これから数年間生き続ける限り必要なのだ。もしも、虫歯ばかりになつて歯が落ちていくと、私の食べた物は歯で小さくすることができない。すると、胃を悪くする。そうすると、小腸で栄養を十分とれず、私の体は健康でなくなるだろう。それにことばも不明りようになり、楽しい社会生活ができなくなるだろう。それから、歯がないとほおがこけてみにくくなるだろう。

私は生きてる限り、歯みがきを朝と夜、かささないで続けよう。そして、いつも口の中を清潔にしておこう。

私は、これからの長い人生を虫歯のないじょうぶな歯で明るく楽しく、くらししていきたいと考へる。

この作文は、長崎県医師会が先ごろ、県下の小中学校を対称に歯科衛生作文コンクールを行い、応募数三千点の中で第一位になつたものです。

読書感想文

「のぐちひでよ」

をよんで

二年 梅林ツナ

のぐちひでよは、えらいお
いしやさんになりました。一
才の時、いろりにおちて、左
の手をやけどし、五本のゆび
が、木のこぶのようになりま
した。そしてみんなから
「やあーいーてんぼー
てんぼー。」

といっているじめられました。
わたくしは、本を読みなが
らかなしくなつてようちえん
のころを思い出しました。
わたしは、小さいとき、心
ぞうしじゆつをしました。そ
のきず後を見た、友だちから

「どがんしたんね。なしてき
ずんあつとね。」とあつちか
らも、こちちからも言われ、
へんじにこまっつて、ないてし
まいました。

おかあさんが、「元氣にな
ったんだから、ひとつもおか
しくない。見たい人に、見せ
てあげなさい。」とはげまし
てくれたが、やっぱりはずか

しくていやでした。ひでよも
きつとはずかしくて、いやだ
つたと思います。
「てんぼ、てんぼ。」とか
らかっていた友だちが、お金
を出しあつて、せいさくの手
を、なおしてやりました。

せいさくは、五本のゆびが
ひらいたり、とじたり、また
ぐ。ちよき。ぱ、がでできるよ
うになった手を見て、どんな
にうれしかったことでしょう。
わたしも、うれしくなつて
大きな声で、「パンサーイ
ああよかった。」といつて、
いつのまにか、じぶんの手を
ぐ、ちよき。ぱ、とうごかし
ていました。

せいさくは、友だち（あり
がとう）と、心の中で、いっ
たと思います。
せいさくをばげましてくれ
た 小林先生、ちわきもりの
すけ先生、おかあさんたちも
えらいと思います。

せいさくのえらいところは
どんなにつらい時でも、がま
んして、いっしょうけんめい
べんきょうしたこと、それに
人のおんをけつしてわすれ
なかつたことだと思ひます。

わたしのからだには三十人
の人のきれいなちが、ながれ

ています。また、わたしのす
きなにんじんジュースを作っ
てくれるおかあさん。一日中
はたらいている おとうさん
や、おじいちゃん、しかられ
てないているとき、なぐさめ
てくれるやさしいおばあちゃ
ん。べんきょうを教えてくれ
る先生、友だち。一年に一回
長さきのびよういんにいつた
とき、「大きくなつたね。何
年生になつた。およいだか。
うんどう会で一とうになつた
か。」と頭をなでたり、手の
みやくをはかりながら、「ほ
う、元氣がよい。もうしんぱ
いないよ。」といつてはげま
してくださるいん長先生の声
を聞いて、うれしくて、うれ
しくて、とびまわりました。

のぐちひでよは、日本や、
せかいの人々から、おんじん
といわれるようになつました。
わたしもいっしょうけんめい
いべんきょうして、ひでよの
ように、人のおんをけつし
てわすれず、よわい人をたす
けて、みんなのために、やく
だつ人になりたい。!

(評)

ツナさんの感想文ですぐ
れているところは、作品の

主題や主人公の性格を正しく
とらえていることです。さら
に、感想のとらえかたが、主
題から離れず、自分の生活経
験と比べながら、素直に、率
直に感想を述べていること
です。だから、読む人に深い感

三小児童の生活と健康の実態

「体育時間に見学の多いこと
全校朝会の時わずか十分の起
立にも耐えきれず、貧血を起
こす児童の多いこと、授業中
遊び時間中ぼんやりしている

銘を与え、共鳴するところが
あります。
感想文を書くことは、ただ
単に気持ちを書くというので
なく、正しく主題をとらえ、
読み深め、どう感銘を受けた
かにあるのです。

<調査1>

○昨年1年間に校内でけがをした児童数(のべ人数)

学年	1	2	3	4	5	6	計
人数	162	340	270	245	195	348	1,560

※参考 上記のけが児童の中で学校安全会にかかった
件数は(56)件である。

<調査2>

○内科的疾患で保健室へ来た児童数(のべ人数)

学年	1	2	3	4	5	6	計
人数	62	120	133	148	140	193	796

※内科的疾患(頭痛・腹痛・めまい・発熱・吐気など)

<調査5>

・朝食ぬきの実態(%)

学年	殆んど食べない	週に1.2回食べない	毎日食べる
1	4.2	10.2	85.6
2	4.7	15.3	80.0
3	5.1	13.5	81.4
4	2.4	21.8	75.8
5	3.9	24.6	71.5
6	4.1	17.8	78.1

※殆んど食べないが全校生徒の4%、約50人近くもいるのにおどろく。

○週に1.2回ぬき子、殆んど食べない子についてその理由を調べてみた。

・食べない理由(%)

原因	何となく食べたくない	時間が無い	準備がしてない	身の調子が悪い	やせるため
全校	52.2	21.9	13.2	7.2	4.5

※遅い起床のためおなかがすかない。朝ごはんが食べたくない。遅刻しそう。食べる時間がない。とって食べてこない子どもがかなりいることになる。また、食べる時間がないということに朝のテレビ視聴も考えられるのではないだろうか。

<調査6> ・朝のテレビ視聴(全校)

	いつも見る	ときどき見る	殆んど見ない
%	51.1	25.8	23.1

約7割が子ども番組を視聴している。

<調査3>

1. 塾通いの実態(平日の場合)

学年	1	2	3	4	5	6
%	37	67	65	60	71	51

2. 塾に行っている子どもの帰宅時刻(数字は%)

学年	PM					8:00~
	~4:00	~5:00	~6:00	~7:00	~8:00	
1	18.2	38.6	11.4	18.2	13.6	0
2	31.5	50.0	11.1	0	7.4	0
3	5.3	23.0	43.5	20.0	4.7	3.5
4	2.7	13.3	27.0	34.3	19.0	3.7
5	2.7	5.0	23.8	48.2	15.8	4.5
6	1.4	9.5	22.9	41.8	17.6	6.8

<調査4>

・テレビ視聴時間(平均)平日の場合(%)

学年	時間				
	~1時間	~2時間	~3時間	~4時間	4時間~
1	3.4	24.6	21.2	24.6	26.2
2	2.4	14.1	23.5	42.9	17.1
3	3.7	11.9	27.0	28.0	29.7
4	0.6	4.2	35.8	38.2	21.2
5	2.3	9.2	25.8	27.7	35.4
6	1.4	9.6	42.5	27.0	19.5



がんば四十八号をお届け致します。運動会、秋の遠足といろいろの学校行事も済み、今年、特別早く寒さがかけ足でやって来、また冬休みを迎える時期に近づいてきました。

運動会について、臨時号を出す予定で、十月二十二日広報部会を開きましたが、代表委員会を中心に、子どもたちがとり組んだ運動会を、限られた紙面で、一部の人々だけの意見を発表する事が、はたして適当かと論議になり、会長、副会長も臨席していただき、遅くまで検討した結果、育友会として、運動会について臨時号を出す事は取りやめました。

四十八号では「家庭のしつけ」を特集しました。参考になれば幸いです。「がんば」を一層よくするために、皆様の忌憚のない御希望や御意見など沢山の原稿をお寄せ下さい。

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~